









五六歳—六〇歳		總數		一、四四三、三六〇		一、四三〇、五四三		九八、三七七		一、二五七、〇三六		三、六四八		六、八七五		一、七六七	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
一、四四三、三六〇	一、四三〇、五四三	一、四四三、三六〇	一、四三〇、五四三	九八、三七七	一、二五七、〇三六	三、六四八	六、八七五	一、七六七	四、七三〇	九、三三四	三、八一三	一、六	二、三三	四、〇九七	一、六	二、三三	四、〇九七
八七九、八八二	八五二、一七五	八七九、八八二	八五二、一七五	四、九八八	七、六五九	三、四三三	四、二四四	一、〇三六	三、三〇三	五、三六六	二、〇九七	八	一、六	二、三三	三、三三	四、〇九七	二、三三
五七四、三七八	五五二、三六八	五七四、三七八	五五二、三六八	四、三三九	四、八六二	一、六〇五	二、七五一	七、五一	二、〇七	三、九六六	一、七二七	八	八、五	一、八五四	一、八五四	二、三三	二、三三
二、六〇七、四四四	二、五二二、一〇七	二、六〇七、四四四	二、五二二、一〇七	一、八六九、九五	二、四一四、七九	七、六一四	二、三二一	三、四〇八	七、七三三	二、六四四	六、七〇四	二、四	二、六七	七、三六	二、六	七、三六	七、三六
一、五三三、三三九	一、四七六、八九八	一、五三三、三三九	一、四七六、八九八	一、〇一三、三三	一、三三三、三七	四、三〇三	七、五〇九	一、八四六	四、三〇三	五、二六七	五、九七五	二、七	二、七	三、九七一	三、九七一	三、九七一	三、九七一
一、〇八五、〇九五	一、〇四四、三〇九	一、〇八五、〇九五	一、〇四四、三〇九	八、五六二	九、八八五	三、三五一	五、七〇一	一、五六一	三、四四	六、四四七	三、二〇九	七	六	三、三三七	三、三三七	三、三三七	三、三三七
一、一五一	一、一三六	一、一五一	一、一三六	二、四	一、二七六	三	二	一	一、七五	一、三五	一、〇九	一	一	二、四	二、四	二、四	二、四
一、二二五	九、九七	一、二二五	九、九七	一、七	九、九	一、七	一	一	九、九	一、七	一、七	一	一	一、七	一、七	一、七	一、七
四、三六	三、三九	四、三六	三、三九	七	三、三五	二、六	一	一	七	三、三五	二、六	一	一	七	三、三五	二、六	一
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
不	詳	總	數	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男

統計とふそ

(埋め草)

ドイツのある本に、「統計學は學問の賣笑婦である」と書いてあるのをよんだことがある。たとへるにも、ものこそあれ、賣笑婦とはあまりにも、み下げたのしり方ではないか。……統計學はまさか白粉をべつたりとたくつてゐるわけでもないから、この輕蔑的なたとへは、統計學もよくうそをつくといふことであるらしい。

統計の調査にあつて、申告にうそがあるならば、うその統計が出来上ることは當然である。申告のうそのうちで、まづ第一に問題になるのは、申告者の無智である。

自分の年齢を知らないやうな馬鹿があるものかとおもふ人もあるかも知れないが、世間にはかかる馬鹿も案外に少くはない。……印度の國勢調査では五又は十の倍数にあつてゐる年齢の人口は馬鹿に多く、例へば十五歳、二十歳の人口は、十四歳又は十九歳の人口よりいぢるしく多くなつてゐる。……こんな不正の申告は、印度人が一般に無智であることによるものであるが、しかし普通には、文明國として自他共に許してゐるイギリスやアメリカの國勢調査においても、同様の傾向がみられるのである。この點からみて、イギリスやアメリカにおける國民一般の知的水準はおもひやられるではないか、わが國の

普通教育はさすがによく普及してゐるおかげで、國勢調査の結果をみても、こんな不合理なところは、ない。

申告のうそは、申告者の無智のほかに、虚偽又は悪意によつてもあらはれる。虚偽による申告のうその例としては、國勢調査において、老嫗は實際よりも若き年齢を、また高齢者は實際よりも高き年齢を記入する傾向があるといはれてゐる。……

話は少し古いが、一八七一年に、バイエルンの國勢調査では、百歳以上の高齢者は三十七名に達したが、よく調べなほしてみると、實際に百歳以上の高齢者はわづかに一人であり、十五人は九十歳にも達してゐなかつたといふことである。

しかしこれなんかは罪の少いうそつきであつて、たちの悪いのにこんなのがあつて。一九一一年のことであるが、イギリスの國勢調査では、七十歳以上の人口が男女ともに、十年前に較べておそろしく増加したのである。その原因を調べてみると、一九〇八年に養老金支給法が定められ、七十歳以上の國民に、一定の條件のもとで、養老救助金を與へることになつたがためであるらしい。……これに反して堂々たる統計機關および統計専門家がうその統計をでつち上げて、世人をあざむかんとする場合はある。その罪は

はなはだ深い。

私はアメリカの統計ほどあてにならないものはないとおもつてゐる。アメリカを文明國のうちに入れる人もあるやうであるが、國勢調査票に自ら記入することの出来ない無智な世帯主がはなはだ多い。それで調査員が代筆で記入するのであるが、この調査員がとても信用のならないものである。といふのは、わが國の調査員は名譽職であつて、いづれも信用するに足る人が選ばれ、奉仕の精神でもつて、誠實にその任務にあつてゐるが、アメリカの調査員は日給で雇はれ、しかも失業してゐたやうな人間の集りである。これではその仕事のあいまいさもおもひやられる。

それにもかゝらず、出来上つた統計表のみかけだけは、はなはだ立派である。國勢調査の結果表ばかりではない。アメリカの統計表は、いづれもみかけはともよく出来てゐる。統計専門家の發表する研究も、その外見だけを見ると、實によくつてゐる。しかしわれわれの要求する統計は、いつもその註文通りに、よくつた形ではあらはれるものではない。これは統計の仕事に従事する者のつねに經驗するところである。

こんないんちきな統計でもつて、世界の統計専門家をあざむきとはせるものではない。されば、かつての國際統計會議において、アメリカの統計のいんちきをさんざん難詰されて、ぐうの音も出なかつたのである。

岡崎文規著 統計と社會より